

イエスは、ヨルダン川でヨハネからバプテスマを受けられました。その時、天が開き、声が聞こえた。ルカは記しています（21～22節）。イエスの公生涯の始まりです。イエスは生涯の最後に十字架の死による霊のバプテスマを受けられます。聖書が私たちに示すことは、私たちもまず悔改めて水のバプテスマを受けることが救いの初めであり、その後イエスが負われた十字架を私たちも負う事によって救いが完成するという事です。

それでは教会のバプテスマの意味は何でしょうか。バプテスマを受けることによって、私たちはキリストの十字架を覚え、キリストを下さった神の愛を思います。その時、私たちも神の祝福をいただくのです。「私はあなたと共にいる（インマヌエル）」という約束こそが神からの祝福です。この祝福をいただいた時、私たちは十字架を負うことが出来るのです。重い病が与えられた時、挫折が与えられる時、その向こうに神の祝福があることを知るのです。その時、私たちは病や挫折を感謝して受け取ることができます。水のバプテスマを受けることによって救いが始まり、その救いは私たちの人生の歩みの中で完成されていくのです。

ヨハネは人々に悔改めを求め、それに相応しく生きることを求めました。天に宝を積みばそこに救いがあると主張します（ルカ3章11～14節）。しかし、このような道徳的行為では人は救われません。人間の罪は自己を救うにはあまりにも重いのです。だから神が地上に來られた、そして十字架で罪の身代わりとして死なれたと聖書は言います。

私たちの人生は約束の地を目指して歩む旅人の人生です。私たちは今、約束のものを受けるために旅をしているのです。その旅の始まりが水のバプテスマなのです。イエスのバプテスマを記すルカ3章の記事は私たちにそう教えています。

（村山盛芳牧師）

徳島県三好市

週 報

日本キリスト教団

みなみやま

南山教会

<2018年間聖句>

「遣わされないで、どうして

宣べ伝えることができよう」

(ローマの信徒への手紙10章15節)

<2018年主題>

恵みを分かち合おう



Since 1947. 8. 1. 創立71周年

〒470-0111

愛知県日進市米野木町南山983-16

(愛知牧場内)

牧 師 村山盛芳

伝道師 本間優太

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005

教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp

HP www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/

11012・1・111 4編11世 2111111

前 奏

頌 栄 112 (K6のB4)

仕立の

長崎県 川口 112 (K6のB4)

讃美歌 112 (讃美歌のB4)

聖 書 2100のB4

112 (讃美歌のB4)

祈 祷

讃美歌 112 (讃美歌のB4)

信託の

説 教 「救いを求めよう」

祈 祷

本間優太伝道師

今週の讃美歌のB4

讃美歌 112 (讃美歌のB4)

献 金 112

派 遣 112 (讃美歌のB4)

祝 祷

後 奏

… 聖 句 …

讃美歌のB4を求めよう。救いを求めよう。